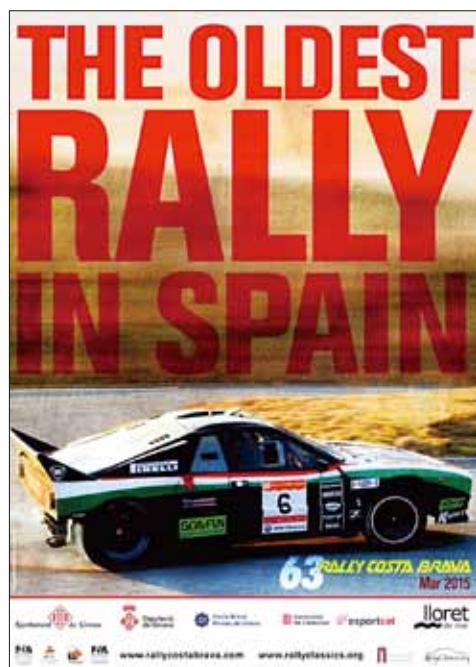


# TEAM剛 × 三菱ランサーGSR



篠塚建次郎氏がスペイン最古のラリー「ラリーコスタブラバ」に参戦する!



2015年3月13日～14日の2日間、スペインのジローナに於いて開催される「ラリーコスタブラバ」は、FIAトロフィー・ヒストリックレギュラリティラリーのスペインラウンド。ヨーロッパの格式あるヒストリックカーラリーはスペイン、イタリア、ギリシャ、ポルトガル、イギリスを転戦し、年間9戦にてチャンピオンシップを争うことになる。



その初戦となるラリーコスタブラバに、篠塚氏とチーム剛のメンバー

日本のラリー界を牽引し続けた「篠塚建次郎氏」の参戦が決定した。1997年のパリ～ダカルラリーでの総合優勝を始め、数々のラリーフィールドで輝かしい成績を残す篠塚氏。そのルーツは三菱自動車にあり、1970年には三菱自動車の若きファクトリードライバーとしてラリーに参戦し、1976年のサファリラリー(WRC)では初代ランサー(A73)を駆って、日本人初となる総合6位入賞を果たしている。今回のラリーでは「三菱＝篠塚建次郎」のイメージをそのままに、復活を遂げたレジェンドの華麗なる走りに期待したい。

## ラリーへの熱き情熱が凝縮された 初代ランサーGSR

今回のヒストリックラリーに挑戦するマシンは、1973年に三菱自動車から発売された初代ランサー1600GSR。A73型と呼ばれるランサーGSRは直列4気筒OHCユニットを搭載し、ツインキャブレターで武装することで100psの最高出力を発揮したのである。サファリラリーやサザンクロスラリーを制したことで知られ、ラリーフィールドで培われた熱き情熱は近代のランサー・エボリューションシリーズへと受け継がれた。



### SPACIFICATION

#### 三菱ランサー1600GSR(A73)

- 全長×全幅×全高:3995×1535×1365mm
- ホイールベース:2340mm
- トレッド(前):1300mm(後):1270mm
- 車両重量:890kg
- エンジン:直列4気筒OHC
- 総排気量:1597cc
- 最大出力:100ps/6300rpm
- 最大トルク:13.5kgm/4000rpm
- トランスミッション:5MT
- ブレーキ(前):ディスク(後):リーディングトレーリング



東京大学工学部海外ヒストリックラリー参戦プロジェクトメンバーの手によって整備・改造・塗装された市販車のランサーGSR(A73)

